



保育園からこんにちは

おじいさん・おばあさん

いまいかずやくん(6歳一下野)

五加保育園



No.344 10/15

広報 ひがししらかわ

■発行 東白川村 ■編集 東白川村企画課 ■〒509-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地
 ■☎(05747)8-3111・内線26 ■印刷 基田郡下呂町 下呂印刷株式会社



にぎやかな子どもみこし(神土地区子ども会)

人口の動き

— 9月末住民登録人口から—

世帯数	914世帯
人口	3,537人
転入	9人
転出	6人
出生	5人
死亡	4人

先月と比較して4人増
 昨年と同月と比較して29人減

秋だ!祭りだ!ワッショイ ワッショイ

実りの秋。豊作を祝う祭りばやしが秋空へと吸い込まれていきます。

大人から子どもまで、いっしょになってみこしを上げ、獅子が舞う。

9月29日、神田神社例大祭が行われたその夜、東白川中学校体育館を約800人の聴衆がうめつくし、オール阪神・巨人の漫才に秋の夜長を満喫しました。



平商店街を練り歩く獅子(東白川青年団)

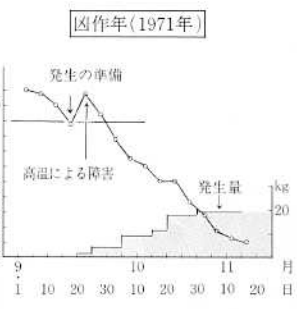


あの松茸はいずこへ…

秋の味覚では、なんといつてもマツタケがその王座を占めています。村は、その産地でありながらわたしたちの食卓から遠のいて久しい「東白川松茸」にスポットを当ててみました。

職員総出で箱詰め

かつては、けとばすほどに出ていたというマツタケ。しかしその貴重さは、今も昔も変わりません。古く元禄時代に書かれた『本朝食鑑』の中に、「マツタケの下は菓になっていて、これを移植するとマツタケが出た」とあります。おそらく、当時から値



高温障害

また、「戦時中、家から送ってきたマツタケのカス漬けを戦友といっしょに食べたところ、こんなうまいものは初めてだと喜んでくれた。あのときの味はよう忘れん」と、あるお年寄りの思い出話です。

いまや、市場での絶対的地位

の高かったマツタケを何とか栽培したいと、夢を追ったのだらう…と思われま

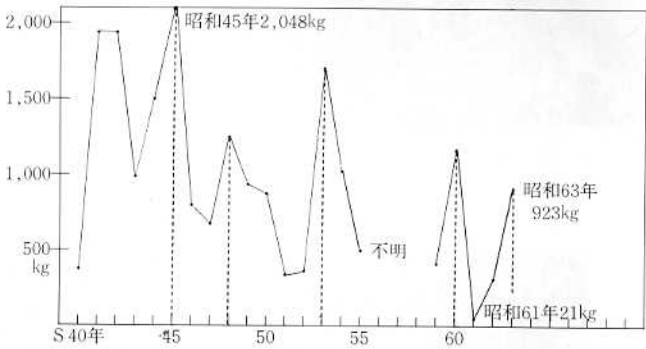
をもつ東白川松茸も、農協が庭先販売から共同出荷を推進したのが昭和二十六年のこと。翌年には生産者が一同に会して「松茸まつり」を開くなど活気に満ちていました。

昔のある地主の家では、採ったマツタケのほとんどを、今でいう年金の代りにお年寄りの小遣いとして売ってしまい、年の瀬の年貢納めに来た人を、最高の口とりとしてカス漬けにしたマツタケと酒でもてなしたそうです。

集荷場へは、桑を入れる背負いかごなどでマツタケを持ち込まれ職員総出で選別・箱詰めを行ったそうです。

出荷は、トヨエースで白川口駅まで運んだとい

ように、年々減少の傾向を示しているものの三、四年おきに千鈞台の記録を示しています。なぜこのような波があるのでしょうか。

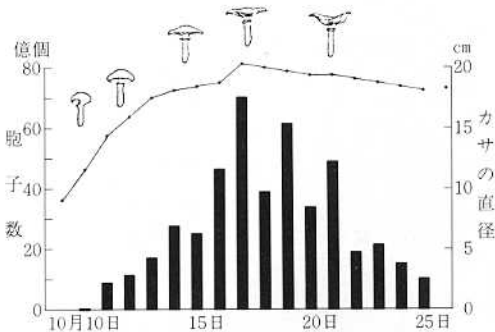


マツタケ出荷量の年度別推移 (東白川農協資料より)



今年、10月6日現在で56kgと一向にふるわない…

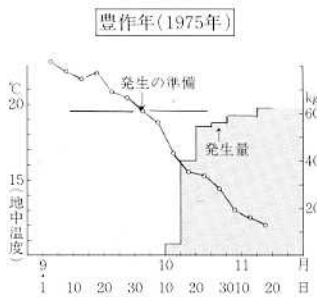
つたマツタケ列車



▲マツタケの生長と胞子の落下数

右の二つのグラフは、マツタケの発生が地中温度と密接な関係にあることを示しています。九月に入って地中温度が二〇度以下になるころから、マツタケは、発生のための準備を始めます。この温度が順調に降下した年は、発生期間が短かく豊作。逆に、暑さの戻りがあると、高温障害を起こし、発生期間は長く凶作になるといふ二つのケースを示しているのです。マツタケの発生に影響するものは温度ばかりではありません。

敏感で気まぐれなマツタケ



▲温度刺激と

降雨量もその一つです。春から梅雨にかけての降雨は、菌根と菌糸の繁殖に必要不可欠で、この時期の雨が少ないと、秋の気象条件が順調でも不作になるといわれています。その他、アカマツの乱伐とマツクイムシの被害、マツタケ山の老齢化、アカマツ林の手入れ不足、そして世界的な問題になっている炭酸ガスの増加による気温の上昇、酸性雨など、さまざまな気象の変化・環境の変化を敏感にとらえるマツタケだけに、発生に波が生じているのでしよう。

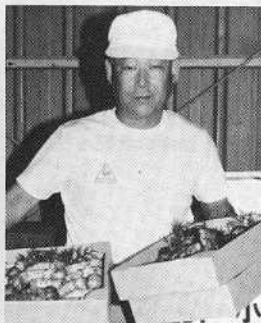
実るか：人工栽培

現在のところ激減した理由には、田畑の堆肥に使った秋の刈干しを行わなくなったため、放置されたアカマツ林では、急速に雑木・雑草がおおい茂り、落葉がたまり地表をおおってしまつたからです。これによって林内は風通しが悪くなり、陽の光も入らず、湿気が多くなつてマツタケの敵になるキノコやカビがふえたためと言われています。

昨年、百年に一度の異常気象に見舞われたにもかかわらず、例年にならぬ約千倍もの出荷量を記録しました。ところが、今年のように雨が長く、豊作が期待されていた年であっても、ふたを開けてみれば凶作なのです。

村でも、森林組合が昭和四十二年に行つた、餅わらでの敷から施業をはじめ、六十年にはマツタケ山づくりの講習会を開くなど、努力されていますが、その成果はもう少し先のようです。

十月三日の朝日新聞に「人工衛星からマツタケ適地探し」という記事が載つていたように、日本中で栽培の試みがされているようです。



東白川マツタケは岐阜県一！

東白川松茸の出荷先は、その約七十割が岐阜丸共です。仲買人卸しは、新鮮さを損なわず、その日のうちに店頭並びます。

丸共の東白川担当は、各務原の酒井さん。十七歳から仲買人を始め、村とは三十年の付き合い。今では、すっかり東白川松茸の顔として卸業界に顔が売れている酒井さんは、東白川のマツタケは「岐阜県一」と語る。山が深いため、香り高くしっとりとしており、ひらきが少なく、そして県下で最初に出荷されるため価格が良いという。



昭和27年 旧東白川村公民館で松茸祭りが開かれた

かつて

美濃路を走

新鋭機械導入で医療体制拡充

東白川病院施設の中核となる診療棟が建築されて、二十五年がたとうとしています。施設も古くなり、平成二年には診療棟の改修が計画されているなかで、さらに医療体制を拡充するため、今年度予算で二台の新鋭機械を購入しました。体は小さめですが、そこに秘めた大きな性能とは……

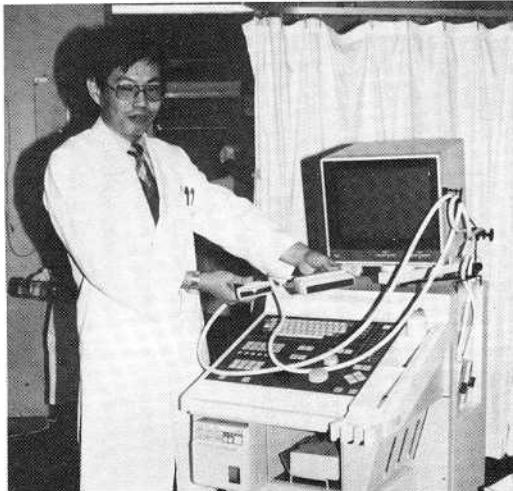
今回、購入した機械は、エコーカメラとホルター心電計です。まず、エコーカメラから探ってみましょう。

最先端の超音波で検査アツプ

まず左下の写真をご覧ください。パソコンのように見える機械が、今回更新になったエコーカメラです。

この機械は、体の内部の軟かい組織を調べるもので、肝臓・腎臓など臓器の検査に広く使われています。なかでも、心臓と甲状腺の検査は、この新しい機械によって村の病院でも調べる事が出来るようになりました。とくに、産科では、胎児の発育のようすや胎盤の位置をたしかめたりするのに欠くことのできない機械です。

特徴といえば、検査にあたって特別な準備もなく、無害で痛みがないことです。腹にゼリー



時田先生が手にしている探触子が体の状態を探る

を塗って、写真の時田先生が手にしている探触子を、おなかに当てただけで超音波が臓器の状態を映像に変えて伝えます。

これによって病気の発見率がグーンとアツプしたわけですが、岐阜県立病院にも今年導入されたというこの新鋭機械によって医療の充実が期待されます。

心臓の見張番ノホルター心電計

そして、もう一つのホルター心電計。これまた画期的な機械で、簡単に説明すれば携帯用の心電計を身に付け、自宅で生活または仕事をしながら二十四時間、心臓の状態をチェックできる機械です。

心臓の異常を訴える人は、夜中または仕事中に不整脈が出る場合が多く、病院へ来ても異常が見られないケースがありました。この機械によって発見できるようになりました。

こうした高度な機械が、安価で求めやすくなり、小さな病院にも設置されるようになって、都会の病院との差が縮まってきました。

今回、購入した二台はその意味でも画期的なものです。

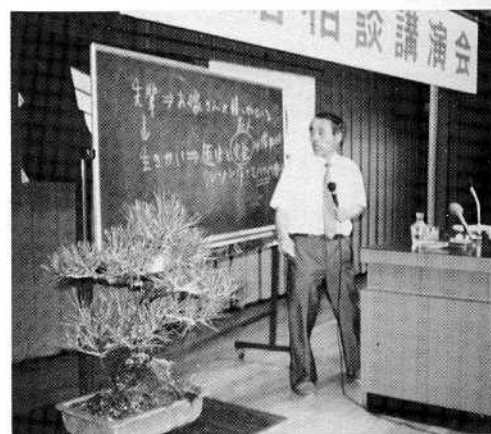
先輩のお嫁さんが喜こんでいる村には嫁さんは来る!

結婚相談講演会

「町の女性が田舎へ来て一番嫌なのは、汲み取り式の便所。やはり、トイレは水洗じゃないと都会と合わないです」と、小沢禎一郎先生の熱弁に耳を傾ける聴講者五十人。

九月三日、「いま地域で結婚を考える」と題した初の結婚相談講演会が、東白川村社会福祉協議会と、商工会婦人部の共催で実現し村民センター大集會室で開かれました。

講師に迎えた小沢先生は、地域が抱える結婚難という課題に、自ら農家の一人。昭和十五年生まれ、長野県松本



市で酪農を営み、二十組以上の仲間体験を持つという話に、だれ一人席を立とうとはしません。

毎日、朝晩とシャワーを浴びている

女性が来るんです。風呂に入っている順番も見直さないといけない! 赤ちゃん↓嫁さん↓息子さん↓お母さん↓父ちゃん↓おばあちゃん↓おじいちゃん↓の順番です。トイレも含めて清潔感が第一です。とにかく生活様式が昔と違ってきたんだから……。そして結婚と同時に相続権がお嫁さんに発生するよう養子縁組の手続きを取ることも重要です。つまり、先輩のお嫁さんが喜こんでいる村には嫁さんは来るんですよ。「あそこへ行ってみろあんないところはないぞ」と、みんな口を揃えて言うような地域づくりを進めることが重要なんです——と小沢さんは力説する。健康で清潔感あふれる村づくりが、この課題を解決する糸口のようにです。

村がいま取り組んでいる水道事業もその解決の切り札となるでしょう。

集いが新しい実を結ぶ

「わたしたち婦人会員は、立村百年にあたり『婦人ふれあいの集い』を開催します。・・・」
九月九日、二百七十九人の婦人会員が一同に会し、三支部長の声高らかな宣誓で、婦人パワーが爆発しました。

みんなで築く三つのわ!

会場となった東白川小学校体育館は、水色の会服を身にまとう婦人会員で一色。「楽しくふ



あいきょうたっぷりで宣誓をする3支部長

れあい、団結の汗を流し、そしてしとやかに競技することを誓います。平成元年九月九日婦人会代表三人娘」とユーモラスな宣誓に緊張感もほぐれ、約二時間のゲームを心おきなく楽しみました。

ゲームは、ふれあいを重要視した内容で十二種目が用意され、その内五種目が全員参加。自分の名前を紹介し合うゲームや、踊りなども組み込まれ、女性らしさを忘れないキメ細かなプログラム、そして企画、運営にいたる一切を婦人の手で作り上げたのです。

集いの広場は、社交の場。「やっとかめやなも」「あんだこの人やったね」と、若い人、中高年の人、それぞれの間であいさつの輪が広がっていました。

小さな村とはいえ、家庭に入るとなかなか出かける機会が少なく、お母さんの代理で

参加したという上親田の安江千伴子さん(28)は、「近所の友達と誘い合って来ましたが、とても楽しく過せました。若い人から中高年の人まで、同じ活動が出来るとすばらしいと思います。若い人には少しじみな会服も、これだけの人が集まるとすごいパワーに感じました。」

中通的今井鶴代さん(28)は、「会場に入って、婦人会員の数にビックリ。このパワーが、婦人にかかわりの深い水道事業にそそがれたらすごい力になるでしょうね。」この日、掲げた実践目標には、そんな思いが刻み込まれていました。

東白川村婦人会の「実践目標」立村百年の記念すべき年にあたり、私たちは「婦人ふれあいの集い」を開催しました。楽しく集うなかで婦人会の伝統を感じ、友情の大切さを思い、そして婦人会の果たすべき役割を認識しました。

これを契機として、さらにすばらしい活動と、美しい日々のために、私たちは「東白川村婦人会の実践目標」を次のように定め、みんなで推進します。

- 私たち 女性で 築こう...
- あいさつの 話
- ふれあいの 輪
- 思いやりの 和



古田正貴さん

今井正明さん

桂川一喜さん

松岡成子さん

田回安幸さん

安江正徳さん

神戸啓子さん

親しみやすい広報紙づくりにお手伝い

地域の情報窓口を努めていただく広報モニターのみなさんが新しく変わりました。

神戸地区では、平の神戸啓子さん(58)主婦。下親田の安江正徳さん(37)農林業。

越原地区では、日向の田口安幸さん(73)農業。陰地の松岡成子さん(40)会社員。同じく桂川一喜さん(28)理容師。

五加地区では、柏本の今井正明さん(54)大工。下野の古田正貴さん(25)団体職員。

以上七人の方が、平成三年三月三十一日までの二年間、モニターとして活躍いただくことになりました。

モニターの仕事は親しみやすい広報紙づくりにお手伝いをいただくもので、身近な話題、地域のホットなニュースを提供していただく窓口でもあります。

お気軽に、話題をお寄せください。

立村百年を祝った敬老の日



すばらしい秋晴れとなった9月15日、村内のお年寄り310人が参加した第15回老人まつりが、東白川中学校体育館を会場に開かれました。



▲安江房夫さん

昔取ったきねづかに 拍手かっさい

会場には、「明るい村づくりに協力しよう」「健康づくりを推進しよう」の二つのスローガンを掲げ、あざやかな万国旗の下でレクリエーションを心ゆくまで楽しみました。

今年、立村百年記念で、例年になく催しとして、老人クラブ対抗による演芸発表が行われました。

田端義男にふんじた田口安幸さん(日向)、手づくりおどりを披露した安江房夫さん(黒潮)息の合った助べい漫才を演じた中島芳造さん(中通)、島倉とくのさん(上親田)など、持ち前の特技を生かした七組の熱演ぶりに拍手かっさい。

会場には、青年団女子活動部員五人がお手伝いに参加していましたが、「みなさんがほとんどやっつてしまわれ、お手伝い

人生八十年型へ意識転換!

東白川村の誕生は、明治二十二年七月一日
村の最高令者、中通の早瀬はるのさんは、明治二十五年一月十日生れ。その誕生の日、日本内陸の最大地震である濃尾地震(M八・四)が起った二か月後に当たります。当年とつて九十七歳。
日本の平均寿命は、男子七十五・六歳、女子八十一・四歳と世界最高の水準です。六

十歳を定年とすると、男子で十数年、女子で約二十年の平均寿命があることとなります。八月末現在の村の統計資料によれば、六十歳以上が千六十三人と人口の約三分の一を占めています。つまり、三人に一人は六十歳以上のお年寄りとなるわけです。
そして、日本の平均寿命を越えた八十歳以上のお年寄りは、二百七人と、昨年の同月より十七人増加しています。
今こそ、人生八十年型への意識の転換が必要のようです。



▲田口安幸さん



▲中島芳造さん



▲島倉とくのさん

（け）（い）（じ）（ば）（ん）

- 戸籍の窓 九月 敬称略 誕生おめでとごございます
- (陰地) 安江 千章 (あきら)
- 藤香 (ながみ)
- (日向) 安江 忠 (せい)
- 琴美 (せい)
- (神付) 田口 喜章 (しんや)
- 幸代 (しんや)
- (陰地) 村雲 成男 (あやの)
- 由紀子 (あやの)
- (西洞) 村雲 知己 (あき)
- ちほみ (あき)
- いつまでもおしあわせに
- (村雲) まり子 (中通)
- (西岡) 幸男 (各務原市)
- おくやみ申しあげます
- 今井外吉 69歳 (大沢)
- 安江よう 79歳 (平)
- 桂川ちさ 83歳 (日向)
- 善意の寄付 敬称略
- 【社会福祉器具指定寄付】
- 現金五万円 今井政信 (大沢)
- 現金十万円 安江茂 (平)
- 【立村百年タイムカプセル埋設費用指定寄付】
- 現金一万四千元 今井秀和 外二十七名 (五加十周年集)
- 【神土小学校へ】
- 児童用図書四百五十六冊、書架一台 財団法人田口福寿会
- 会長田口利夫 (西濃運輸株)
- 【五加保育園へ】
- スライド用カセットテープ二本 鈴木村房江 (柏本)・絵本三十冊 神野京子 (岐阜市)

大入り満員郷土歌舞伎

百年餅も投げられて：

秋分の日(九月二十三日)、今年で第十三回を迎えた郷土歌舞伎公演が東白川中学校体育館で行われ、会場は村内外から詰めかけた歌舞伎ファンら約八百人で大入り満員となりました。

公演は、三味線クラブ・木屋会・民謡クラブ・民謡教室・かじか合唱団の皆さんによる芸能まつりのあと、約六時間にわたって四演目を披露。

今年、立村百年の意義ある年にふさわしい演目をと、古典中の名作、絵本太功記(尼ヶ崎閑居の場)・伽羅先代萩(政岡

忠義の段―御殿より床下まで)の二幕と、立村百年の祝賀演目として寿三番叟・白浪五人男(福瀬川勢揃の場)を取りそろえ、新藤県議の出演もいただいて絢爛豪華に繰り上げられました。

寿三番叟の三番を演じた上親田の安江千夏さん(中一)は、小学校四年生から歌舞伎を始め今年で四回目の出演、「子役は小学生までだからもう出られない」と思っていました。今年、立村百年記念ということで特別に中学生四人が参加させてもらいました。来年もできたら…」



寿三番叟で姫を演じた村雲加代子さん(神付)

とうれしげに語ってくれました。

中谷の村雲千恵子さんは、「子供たちの練習への送迎は、当番制でやっており本日まで体調をくずさないようにと、親としての気苦労もありましたが今日の演技を見れば何もかも忘れホットした気分です」。

見学者の一人、曲坂の荻田喜美子さん(88)は「今年、前評判どおりどれもすばらしく、伽羅先代萩など内容知らなくても泣かされました。それに、見学者はセリフを口ずさむほどで、とくに白浪五人

男は楽しく見ておられたようです」と、見る者、演ずる者の心が一つふれあった公演でした。



白浪五人男の出演者…左から桂川村長・新藤県議・木村商工会長・古田議長・安江農協組合長

裏方さんに支えられて

華やかな舞台の裏では、振付師匠の松本団升さんをはじめ、太夫、三味線、下座、着付、顔師、衣装、舞台装置、美術、音響、進行など大勢の裏方さんが額に汗を光らせ六時間の芝居を支えています。この舞台を設計し、第一回



芝居を見守る松本団升先生

公演から舞台装置を担当している中道の村雲加夫さんは、「よく十三年も使えたものだ。歌舞伎の舞台は、毎年同じ装置を演目ごとに組み合わせて使っているため傷むことも多いはずだが、これだけ使えたのは大切に使用してもらっている証だ。引き幕もかつての神田座、日向座、相生座の三枚があり、懐しく見てもらえるよう重ね合せて使っています」という裏方さんの心遣いに支えられて今日の歌舞伎があるのです。

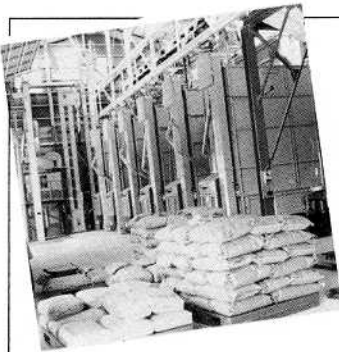
期待を担う

ライスセンター 操業

十月二日、ライスセンター操業初日は、餅米を主体に約三千粒を受入れ、順調なスタートを切りました。

総事業費一億二千万円、コンピュータ制御による全自動システムラインを導入し、初年度の受入れは五十分の処理能力に対して二十分。その内、約九十割がコンバインによる刈り取りとライスセンターをセットで受注しています。

これまで、農家立合いで検査を行っていた政府売渡米も、ライスセンターでは一括して検査を受けるため、立合いの必要がなくなるなど合理的な作業を通して乾燥、調整が出来るようになりまし。籾の受入れは、休日返上で常時行っています。



歴史の証言・立村百年の記録（第十七話）

大自然の美に抱擁さる山紫水明の地たる東濃加茂郡東白川村は岐阜市より東十九里、飛驒街道筋下麻生町より中央線中津町に通ずる要路に当り、北に尾城山の峻嶺峙ち、南に寒陽気山、捨羅山の山嶽聳え、両連山相對峙して頗る偉觀を極め、深山幽谷より流れ出す白川は北より南に走り中央を流る。

昔の新聞は美文・名文

大正8年の村のようすを偲ぶ

旧かなづかいで、ごめんなさい

今回はいきなり、名調子でスタートしました。この美文は、大正八年五月一日（木曜日）の岐阜日日新聞「東白川祭展号」と題された特集に紹介された、当時の村のようすであります。

東白川村の紹介文としては今もって名文と評されるものですが、知る人ぞ知る、今ではその全文を完全に伝えるものも少なくなっています。このほど入手したその全文の中から、当時のようすを彷彿とさせる部分を再現してみましよう。

猶も残るは山河のみ

想ひ浮ぶ人皇第四十四代元正天皇の御代より月日の小車は流れ流れて八百六十有余年彼の豊大関秀吉公の禰り、郡上の城主遠藤大隅守胤基氏が領たりし往時を追懐せば坐ろ人をして轉た過去を偲ばしむるものあらんか。吁々、年も逝き、人も逝き、動ける万象悉く逝きて、猶も残れるは山河のみ——（略）

越原村、五加村の三方村に分れ居りしを明治二十二年町村制実施し際し合併して一ヶ村となれり。（略）白川に沿う平坦地は農作物豊熟し米麦茶を産す。茶は香味佳良



上 五加・相生座

下 越原・日向座



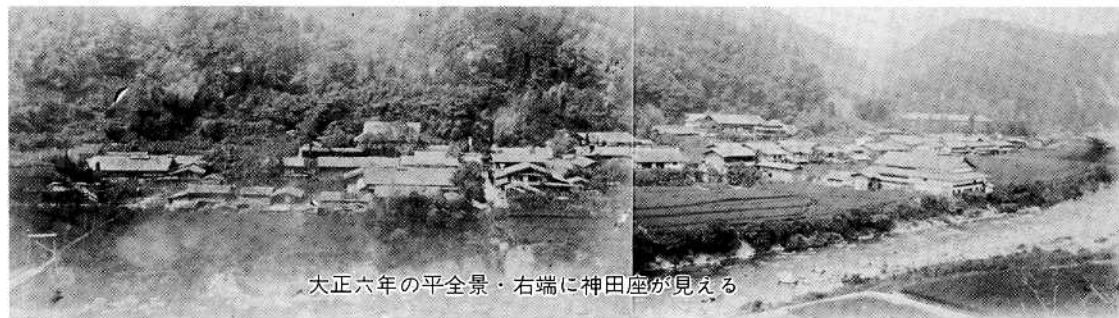
白川茶の名風に聞ゆ。又桑の栽培盛に行はれ養蚕業は糸備好況の爲め益々隆盛の域に達し（略）生糸は東白川村に於ける産物の最たるものにして之れ又年々、異数の発展に向ひつつあるは国富富進上祝福す可く、林業は村内に八ヶ所の精材工場在りて、板類並びに建築用材の移出多く、木炭の製造又盛なり。白川炭の名高し。

畜産に到りては白川駒として聞ゆ。これ亦良駒の名あり。（略）其他当村の娯楽場として越原に日向座、神土に神田座、五加に相生座の三劇場あり。加ふるに今や大正の開けゆく御代に全村民の心理状態一新して、行政に産業に、教育に全く理想の域に向ひ、更に時代の要求として文明の風は彼の重畳たる千山万岳を越えて吹き来り、電燈事業の計画さへあり、親し

満山の紅葉赫々と燃え

あ、此の山清き水麗はしき自然の美景に支配さる、東白川の郷土は、春夏秋冬を通じて、夢の如き山水美に抱かれ居るを以て、一面遊覽地として別荘地として最も好適なる觀樂の地と云ふ可く。その春は、清き流れの白川に沿ふ山麓一帶の岩躑躅が紅く燃えて水に映り、夜は石を洗ふ水瀬の響き一つ一つに河鹿の声さへ添ゆ。

その夏は暑さを知らぬ白川溪の緑は珠を溶かして水に流る、静けさよ。その秋は満山の紅葉赫々と燃えて火焰の山かと思はる、燦爛の美よ——その冬は縮粉たる白雪の浄衣に包まれたる気高き四山の風色よ、東白川は眞に自然美の最も勝たるもの——例へ俗物が如何に入り込むとも、此の山水を俗化する事能はざらん、再び云う東白川は天下の絶景なり。



大正六年の平全景・右端に神田座が見える

話題集れ!

イノシシ大暴れ

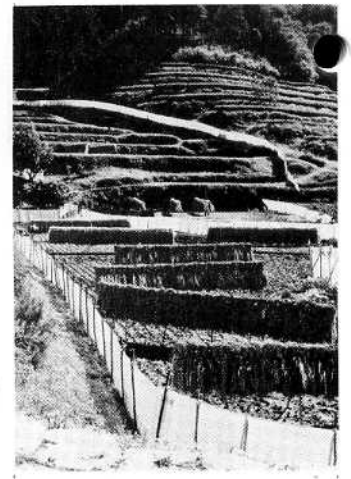
あなたのまわりに明るい話題がありましたら係まで連絡ください。
—— 連絡先 商工広報係 有線2155番

人間がうまいと思
うものは、動物でも
うまいんだとばか
りに、大切な作物を
食い荒すイノシシ。
植林が進み、山に
エサがなくなったと
はいえ、その荒れよ
うすさまじく、柏本
の古田節也さん宅で
はトタンの柵もむな
しく四散余りの稲が
全滅した。左の写真



を物語ってい
る。半熟の穂
をねらうイノ
シシにとって、
一度その味を
しめたら山の
幸など問題で
はないらしい。

試みに、イノシシの道すじに
サツマイモを植えてみたが、素
通りして田へ飛び込んでいたと
いう栗本榎夫さん(柏本は「五
十六年前まではこんな被害
はなかったが今年はとくに
ひどい。ジュースの空き缶
に灯油を入れて火をつけ、
十五分おきに立てたり、カ
ーバイト、サーチライトな
どいろいろな方法で防除し
てみたがダメ。ラジオは、そ
のそばでまぜていたほど。
とにかく音や光ではダメだ
ね。いまのところトタンが
一番良いようだ」



シルクロードのようにトタンに囲われた水田



電気柵を張りめぐらせ水田を守る

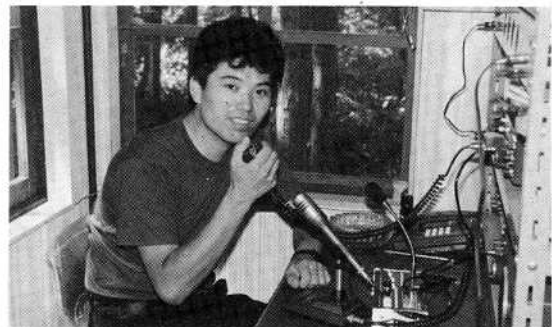
いて栗本さんは、「米という字は
八十八回足を運ぶことを意味し
ているが、これだけの手間は百
回ではきかない。米という字を
変えてもらいたいものだ」とた
とえ話
で語ら
れた。
防除
の方法
はさま
ざまだ
があるが
文頭の
節也さ
ん宅で
は、「昨
は、」

そのために、古材のトタンを
たくさん仕入れ
たという栗本さ
んの田は、百数
十枚のトタンで
囲まれていた(一
写真右端)。クイ
の数もケタ違い。
収穫が終ればこ
れをすべて撤去
する。これにつ

年、穂が色づき始めたところから
一、二週間、雨の日を除いて毎
日ふとん・タイヤなどを燃やし
て夜中の十一時ごろまで家族で
見張りをした」といふほど。
主食への被害を食い止めるため
に、多大な労力が費いやされて
いる。
西洞地区では、ついに電気柵
までが登場しているが、今年の
猟期に期待するしかないようだ。

香良洲町と無線で交流

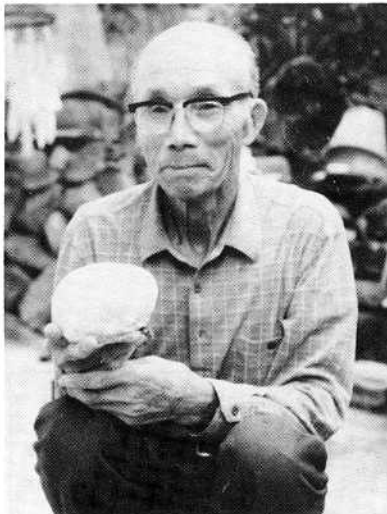
「J F 2 X Y F 三重県一志郡香
良洲町小坂さん聞こえますか?
こちらはJ L 2 V G U 加茂郡東
白川村古田です。どうぞ...」
九月十日、午前十一時五分、
東白川村ハムクラブメンバーの
古田雅彦さん(平)と、香良洲
町の小坂さんとの間で無線によ
る初の交流が実現しました。
日本全国の都道府県と全市全
郡との無線交信を目標にしてい
た古田さんにとって香良洲は、
なかなか交信できなかったとこ
ろ。「いま村では百イニングソ
フトが：などと相互の行事など
の話題に花が咲きました。



「こりゃあなんだろうねー」

今年、松茸に代って見かけ
ないキノコが群生しているそう
ですが、写真の安江麻一さん(下
親田)が手にしているキノコも

その一つ。裏庭のあぜ道に生え
ていたというこのキノコは、真
白で無臭。押すと弾力性があり
直径十五センチほどのボール型です。
数日後には、茶
色に変色しており、
四つに切ってみた
ところ中は海綿状
たたくと茶色の粉
がポツポツと出て
いました。



凶鑑で調べると
ホコリタケ科のオ
ニフスベに似てい
ましたが、正確な
ところは不明です。



おしらせ

国民健康保険証が

変わります

私たちの暮らしの中には、予測できない事故や病気がたくさんあります。そんなとき、三割の自己負担で医療を受けられるのが国民健康保険制度です。

この制度に加入している「あかし」として被保険者証(保険証)が交付されます。国民健康保険の保険証は、社会保険などと違って、有効期限は二年です。から、二年ごとに新しくなります。

現在使用されている保険証は昭和六十二年十一月に交付されており、この十一月三十日で有効期限が切れます。従って十二月一日からは使えなくなり、必ず新しい保険証を使わなければならない。

新しい保険証は、平成三年十一月三十日まで使えることになっております。保険証の交付は十一月十五日ごろから村内各地区へ出て、古い保険証と引きか

えに交付します。また、学生や仕事の都合などで保険証を分けて持っている方も同様です。今から準備をお願いします。交付日程など詳しい事については、チラシや有線などでお知らせします。

忘れていませんか？

年金受給の届出

我が国は、現在人生八十年という長寿国になりつつあり、急速に高齢化社会を迎えています。年をとって、働けなくなるときのために、国民年金保険料を毎月納めていると、六十五歳から老齢基礎年金を受けられ、老後の大きな柱となります。

しかし、会社に就職したとき、あるいは退職したとき、そして結婚、転居等その時々届出をしないと、将来年金が受けられなくなる場合があります。そして、サラリーマンの奥様で次の二つに当てはまる方も届出が必要ですよ。

①ご主人が厚生年金、共済組合に加入している。
②奥様は、ご主人に扶養されている。(奥様の年収は百万円未満である)
この届出によって、奥様が保険料を個別に納めなくても、ご主人の被扶養者年金制度により賄われ、将来年金が受けられるようになります。

以上のような、そのときどきの届出をしていない方や、サラリーマンの奥様で手続きをしていない方がありましたら、役場住民係(窓口)までお出かけください。

11月から

戸籍謄本等の請求に印鑑をご持参ください

戸籍は、本人と家族の身分関係を明確に記した公文書です。登記や融資を受ける場合など、本人であることを証明するものとして、住民票の外この戸籍に記載された内容の全部を転写した『戸籍謄本』。その一部を転写した『戸籍抄本』などが必要になります。

これらのものは、役場窓口で請求していただければ交付してありますが、その用途はとも重要なものばかりです。このため、申請される方の請

求意思を確認する意味で、十一月一日から「戸籍謄本・戸籍抄本・住民票」の請求にあたって印鑑の押印をお願いすることになりました。

印鑑は、米庁された方の認印で結構です。印鑑のない場合は、拇印でも交付できますが、ご協力くださるようお願いいたします。

岐阜県最低賃金

日額三、九七四円に改正

十月三日から、岐阜県最低賃金が次のように改正されました。日額三、九七四円(改正前二、八一八円)・時間額四九四円(改正前四七八円)です。対象となる賃金には、時間外、ボーナスなどの手当は含まれません。

進めています=ふるさとづくり

◆工事入札結果(工事名・工事箇所・事業量・事業費・施工業者・完成日・事業主体の順になっています) =敬称略=
【上親田】上親田林道舗装工事・村雲規造から・延長205m・2,100千円・西野建設(株)・村
【神付】神土角領線薄層舗装工事・村雲英美~安江至好・延長600m・4,900千円・西野建設(株)・村

年賀はがき11月2日発売

予約は10月27日まで!

来年用のお年玉付き年賀はがきは、例年より三日早い十一月二日から発売。予約の受付は十月二十七日までです。お早目に。

シリーズ 思いやりと暮らし 〓その十五〓 生きていくものを食べる

私たちは生きていくものを食べていますが、それを忘れがちです。たとえば、肉類。パックに入ったものを買うことが多いので、その肉が生きていたのを忘れていきます。牛肉も以前は牛だったわけで、草を食べ、呼吸し、飼い主に可愛がられて育ったわけですから、パックに入っているのを買って食べるだけの人々が、と殺は惨い、などと言っています。でも、それはどこがおかしい。一度話しあってみてください。

今月の図書



私のシベリア物語

深地 久枝著

納得できない敗戦後の戦死。「語られざる真実」。埋もれた歴史を問い直し、郷愁に以た思いを胸に、我が目、耳で体験しながらソ連を歩き、現地の人々に感動させられ勇気づけられて、書きおろされた一冊であります。読者の心に勇気と信頼を今あらためて思いおこさせてくれる読み物として紹介します。

黒い空

松本 清張著

東京都八王子市のとあるホテルで、人生の門出を祝う新郎新婦の眼前に一人の女性の死体が埋めこまれた——。戦国の怨念とハシブトカラスの凶兆が交錯する巨匠久比さの「黒」の推理小説です。

ふるさとのことば ⑨

☆そうゆう

(言いつける) (伝える) などの意味を持つ言葉ですが、用いる場所によってさまざまに変化します。

今の子供にはあまりききめがありませんが、昔はいたずらをしていると「悪いことばつかすと先生にそうゆうぞ」と叱られたものでした。先生に「そいわれる」ということは、子供たちにとって、とても辛く、こわいことでした。だから、「先生にそうゆうぞ」と言われればいたずらを止めたものでした。「そうゆうことをゆう

な」といいます。「そ」にアクセントを付けると(そのようなことを言うな)という意になります。使用する時や場所によって(そのようなひどいことを言うな)ともなり、(そのような悲しいことを言うな)ともなり



ます。

「そうゆうな」と「そ」にアクセントをつけていうと(そんなに悪く言うな)とか(そんなにどくどく言うな)とかいう意になります。「そいやええら」(言えばいいでしょう)と多少投げやりな

意味で使用することもあります。が、微妙なアクセントの違いで(言えばいいのでしょうか)と相手を感じ違つて何うような言葉にもなります。

「ちゃんどそいつとけよ」といいます。(すっかり伝えておきなさい)という意味ですが、忘れてはいけないという言外の意を持っています。

「そいつときやええら」などという使い方もあります。(伝えておけばいいでしょう)という意ですが、「そいつとく」ことによつて責任を他に転嫁し、自らは気軽くなるような意をどこかに含んでいます。

まだこの外にも複雑な意味の用い方があると思います。表現の外にある言葉の心を考えるとおもしろいものです。

私の一品

4つ玉栗の誕生



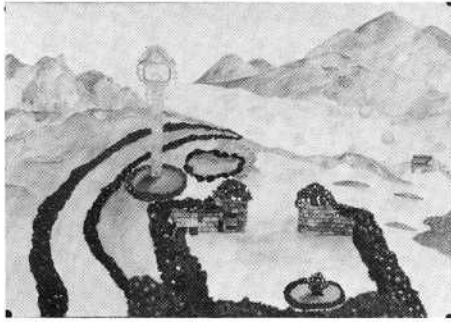
木がたくさんの実をつけました。その中に、意外な一品があったのです。それは、田口さんが、長い間の栗栽培で初めて手にした「四ツ玉」の栗だったので、それも二つのいがに四ツ玉が見られ、どの粒も形が揃つた立派な栗。一本の枝に四ツ玉二つは、偶然にしてはできすぎている。「新品种の誕生か」と、田口さんの心はにわかに騒ぎはじめました。

一般の継木は、新しい品種のものを買ってきて行方が田口さんの場合は、山にある昔からの栗の木の上に継木をしてはふやしてきたもの。四十年間に買った苗は、終戦直後の一回だけだから、四ツ玉の実をつけた木はいくつもの種類から良いところを受け継いだ優等生なのです。

「桃栗三年柿八年」というように、継木をした栗の木が実をつけるのは三年後のこと。「歳をとつて、もう今年で継木も終りかな」と思った年に、四ツ栗の誕生でまた新しい意気込みが湧いてきた」という田口さんは、今年七十三歳。

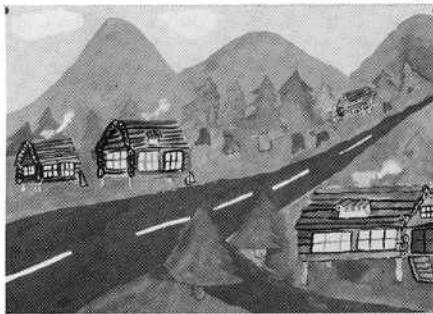
四ツ玉の枝も、今年の十二月には土に預けることになる。三年後の結実を願つて。

私の作品



▲東白川中学校3年
安江真由子さん(黒潮)

テーマ
未来の東白川

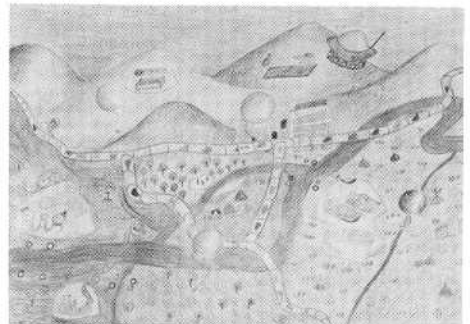


▲東白川中学校二年
河田浩介さん(西洞)



安江美咲ちゃん(一歳)黒潮
正隆さん・眞里子さん(長女)

すくすく育て



▲東白川中学校一年
今井沙保里さん(大沢)

短歌



あなたの作品
をお寄せくださ
い。
・初心者、とく
に若い人たちの
投稿を歓迎し
ます。
・毎月20日まで
に、神戸伊藤
重雄宛に出し
てください。

- 百年の村の歴史の中に生れ恵み尊とし古橋を迎ふる
今井 かな
- 夏草の背丈と伸びしを薙き払い下刈りなせり吾が杉林
田口 一枝
- 孫の呉れしテザイン博の土産物おじいちゃんへと書きある湯呑み
早瀬 勇造
- 山峡にコンバインの音響もして世は移りけり立村百年
安江 澄
- 萩の花散り初めにつつ秋の逝く露の光れる朝の寂けさ
安江 竜玉
- 稲光り闇夜を照らす一瞬に真白き夕顔二輪を見たり
早瀬 久子
- 野の花を刈りて作りしドライフラワー秋陽の下に猶香を持てり
村雲 うめ
- 風涼しくガードレールの溝に咲く百合一輪が吾れを励ます
安江 守平
- 普通なら幸せと思ふ吾が身なり入院をしてつくづく思ふ
安江 すみよ
- 親つばめ日暮れは殊更忙しく餌をもち来て又飛び立てり
安江 節子
- 繭染めて色あざやかに花作る勿体なきかな尊き繭を
小池 きぬゑ
- 真夏日の戻りし如く蕪間引く背にしわじわと汗にじみ来ぬ
伊藤 美枝
- 北海の秋蛙届きいそいそと料理する出刃に移る冷たさ
伊藤 重雄
- 夏寄せの腕にまつわる蚊を追ひつ大根時けば畦に汗落つ
三戸 きり
- 山襲ごとに霧湧き出でて秋の雨降りみ降らすみ黄昏となる
田口 巽午
- 母の亡き子らと揃ひて酌む夜は子供まかせて格別美味し
安江 香
- 敬老の日の贈り物にと夫と吾に一円玉呉れし孫ら愛しき
安江 幸
- 裏山の夏草の中に山百合の背高く咲きて盆の近づく
小池 弘子
- 底辺を朝から晩までさらへゆく底引網なりあ、消費税
山川 洌
- 寂しくは老も翫ぶなりひたすらに歌のいのちの翼を張りて
田口 良三